

暮らしに役立つ情報満載



住まいるニュース

2019
10
vol.107

今月の特集

防災・減災・備災を 考える

今や
「天災は忘れないうちにやってくる」時代

ひとえに災害といっても、地球温暖化を起因とする異常気象による暴風や豪雨、豪雪、洪水などの自然現象が原因のものから、人間や人間がおこなった行為が原因となるものまでがあります。日本において、ここ10年の自然災害を振り返って大きな被害をもたらした地震だけを取り上げても、東日本大震災や熊本地震、大阪北部地震、北海道胆振東部地震など、数多くの震災が発生しています。このほか、毎年のように多くの被害をもたらす台風や豪雨、豪雪、猛暑など、日本中どこにいても、いつどのような災害に遭うか分からない、予断のおけない状況が続いています。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われた時代は過去のもので、今や「天災は忘れないうちにやってくる」時代に入ったのではないのでしょうか。そして自然災害は時として想像をはるかに超える力で襲ってきます。その災害から自身や家族の安全、そして財産を守るには、事前の対策に取り組むことが何よりも重要だと言えるでしょう。

「防災」は災害を未然に防ぎ、被害を出さないための危機管理をすることですが、度重なる災害の経験から、最近では、被害を完全に防ぐことはかなり困難だということが認識されるようになり、

近年、激化する異常気象。未然の計画で災害を防ぐ「防災」はもちろんのこと、最近では、災害を最小限にとどめる「減災」、必ず来るであろう災いに備える「備災」と、災害に対する危機管理の考えが変化してきました。

災害発生時の被害を最小限に留めるための対策を講じる「減災」への意識が高まってきました。また、災害に備えて避難場所や避難ルートの確認、安否確認のための連絡方法を事前に決めたり、備蓄品や非常用持ち出し袋、緊急避難セットを家族の人数に合わせて準備する、家具の転倒防止や住宅の耐震補強を行うなどの「備災」、さらには災害対策への知識を高めて自身を守る「知災」の必要性への理解も広がっています。

災害から家族を守るには
耐久性の高い住宅に住むこと

家族の命や財産を災害から守るには、耐久性の高い住宅に住むことが最

も効果的な防災の一つだと考えます。大震災レベルの振動を再現した耐震実験を重ね、高い耐久性と強度、耐震性を持つ「FPウレタン断熱パネル」と、筋交い耐力壁、面材耐力壁との壁倍率比較テストでも最高の強度を実証した「FPの家」。東日本大震災では、九戸郡野田村でただ1軒、津波に耐え抜きた上益城郡に建つ「FPの家」は、震災後、目立った破損もありませんでした。地震への強さの秘密は、一般の軸組工法に比べ、1.7倍もの壁組強度を誇るのが「FP工法」です。災害から家族を守る「FPの家」で、一緒に防災を考えてみませんか？



住まいの知恵袋

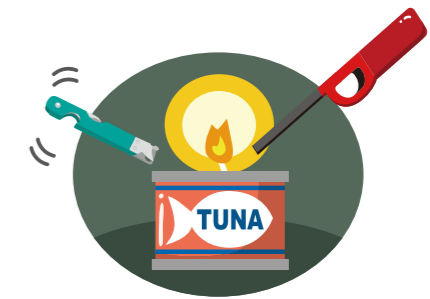
住宅性能評価書

住宅性能表示制度に基づき発行される「住宅性能評価書」。国に登録されている第三者機関が評価し、統一基準により住宅の性能を比較できるよう、10分野32項目に1~3点の数値で評価を行います。その分野は次の通りです。1.構造の安定:倒壊・損傷のしにくさ 2.火災時の安全:耐火性や避難のしやすさ 3.劣化の軽減:柱や土台などの耐久性 4.維持管理・更新への配慮:点検は補修、清掃のしやすさ 5.温熱環境:壁や窓などの断熱性 6.空気環境:接着剤仕様の状況 7.光・視環境:窓の大きさや位置 8.音環境:上下や隣の住戸への音の伝わりにくさ(共同住宅のみ) 9.高齢者などへの配慮:バリアフリーの程度 10.防犯対策:侵入防止対策



できた! / 簡単DIY

ツナ缶ランプ



今回は、非常食の定番とも言えるツナ缶を、停電時の光源として活用できる「ツナ缶ランプ」の作り方を紹介します。

材料は油漬けのツナ缶1個とティッシュ1枚のみ! 油漬けもしくはオイルサーディであれば、ツナ缶でなくても材料として使えます。まずは、ツナ缶の高さの約2.5倍ほどの長さを目安にティッシュをこより状に細くしてランプの芯を作ります。次に、缶切りで芯が刺さるくらい大きさの穴を開けます。そこに、芯のアタマが1cmくらい出るまで穴に押し込んでください。しばらくして芯の先端まで油が染み込めば完成。火をつけてから1時間弱は燃え続けます。火が消えた後、燻された風味は残りますが、そのまま美味しく食べられます。

お金の豆知識



もしも住宅が被災したら

被災した住宅を修理や再建する場合、公的支援金や義援金だけでは資金としては不十分です。東日本大震災では、全壊被害に遭った住宅の新築費用は平均して約2,500万円でしたが、公的支援金や義援金を合わせても約400万円の需給にとどまりました。もしもの備えには保険や共済などへの加入が重要です。

暮らしの1ポイント



お米の長期保存

精米されたお米は、暗所・未開封保存なら鮮度と美味しさを保ったまま半年は持ちますが、備災用の長期保存には、酸化や虫、カビや乾燥から長期間、お米を守る必要があります。総合的に見て一番のオススメが冷蔵庫の野菜室での保存です。冷蔵庫の中は乾燥しており、カビの発生を防ぐほか、酸化や虫対策でも有効です。

教えて! Dr. 住まいる

家具の転倒予防策

家具の上部と天井を固定するツッパリ型の防止器具や、壁とワイヤーでつなぐタイプ、L字型金具で固定するタイプなど、さまざまな種類の家具転倒防止器具がありますが、天井や壁に負荷をかけられないのであれば、手前に10cm程はみ出すように家具の底面にベニヤ板を貼り付ければ、転倒防止効果が得られます。

